

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- ・従来から地域移行推進連絡会議が協議の場として機能しており、医療機関や地域の支援機関との顔の見える関係が構築されている。
- ・社会資源の乏しい地区においても、行政がコーディネーター機能を担い、長期入院者の退院を可能にしている。
- ・地域移行支援に特化したピアサポーターを養成し、精神科病院や入院患者にアプローチが可能となっている。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
これまでの取組みに関する第三者評価の実施	広域及び密着アドバイザーと現状の共有を行ったうえで、協議の場において支援者やピアサポーターらと意見交換を行い、地域の課題について抽出を行った。	協議の場における意見交換が活発になりつつあり、それぞれの立場で抱える困りごとや、地域のためにできることを共有することができた。
上記評価により明らかになった課題についての検討、ビジョンの明確化	上記協議の場を受け、アドバイザーと更なる意見交換を行い、本市における成果と課題を共有した。	庁内外の連携や地域移行の取組み等、成果を共有するとともに、他分野との更なる連携や新しい家族支援等、次年度につながる方向性を確認できた。
障害・介護・医療分野との庁内連携	障害分野との意見交換、介護分野や訪問看護ステーションを対象とした事例検討等を実施した。	初めての試みも多かったが、庁内のみならず地域の支援者も交え、地域包括ケアシステムのイメージを共有することができた。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①第三者評価の実施	検証の実施	検証の実施	構築支援事業によるアドバイザー支援を受け、成果と課題の整理を行った
②課題に対する検討、ビジョンの明確化	検証の実施	検証の実施	検証を実施し、次年度以降の取組み方針も共有できた
③庁内連携の場の確保	場の確保	場の確保	庁内外を問わず、障害・介護・医療分野と意見交換や事例検討を行った

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。